

基礎作業学実習 1 にて編み物（帽子づくり）に取り組みました (2021.12)

2022年1月17日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。

その作業活動として「手工芸（趣味）」活動の編み物に取り組みました。

課題は、スプールウィービング（リリアン）という手法で

直径 30cm ほどの輪を使って編み上げる毛糸の帽子づくりです。

かぎ針編みと違って皆が簡単に作成できました。

片手でも編み上げることが出来るという特徴があり、

片手に麻痺のある方でも取り組みやすい活動です。



毛糸を指でつまんで作っていきます



折り返して仕上げ



さっそく かぶってみました



記念写真の撮影